

運転者会(35周年記念事業)寄付金を寄託

7月16日（火）常磐開発運転者会発足35周年を記念し、いわき市災害遺児激励金基金に35万円を寄付しました。

内田市長より感謝状を頂き、高木社長は「災害遺児のために役立ててほしい」と述べられました。

運転者会は社員の交通安全啓発等を目的に1989年に発足し、今年で35年。現在、役職員のうち運転免許を所有する179人で構成しています。

活動としては、役職員への交通安全教育、通勤時に抜き打ちでシートベルト装着の確認、冬タイヤの装着の確認や、ブレーキランプ類等の点検など交通安全活動を行っております。

毎年会費の一部を積み立てており、いわき市災害遺児激励金基金への寄付は、今回（5回目）の寄付で総額190万円となっております。過去には常磐地区の小学校へ交通教本図書の寄付・福島県交通遺児奨学基金等への寄付をしており、これからも地域・社会に貢献していきたいと考えております。



左から、内田市長、高木社長